

医療技術部門のユニフォームが新しくなりました



9月より医療技術部門のユニフォームが8年ぶりにリニューアルされました。生地ストレッチ性が高く「サイドベンツ」を採用することでより動きやすいユニフォームとなりました。気分を新たに医療サービスの向上に努めてまいります！

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】聖隷発祥の地から日本一信頼される病院を創る



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市中央区三方原町 3453

TEL 053-436-1251 (代) FAX 053-438-2971

おしらせ



新任医師の紹介

脳神経外科
かわじ ひろし
川路 博史

(浜松医科大学 2007 年卒)



心臓血管外科
さいとう やすたか
齋藤 保隆

(島根大学 2018 年卒)



外科
みつさだ けんた
光定 健太

(聖マリアンナ医科大学 2018 年卒)



救急科
ひよし むねひろ
日吉 宗大

(福井大学 2020 年卒)



麻酔科
なかがわ しおり
中川 栞

(藤田医科大学 2021 年卒)



精神科
おおい あすか
大井 飛鳥

(浜松医科大学 2022 年卒)



リハビリテーション科
しばもと たいき
柴本 大樹

(浜松医科大学 2022 年卒)



リハビリテーション科
かわさき ゆうた
川崎 裕大

(浜松医科大学 2022 年卒)



認知症家族介護者教室

認知症に関連するお悩みや心配事のあるご家族に向けて、
認知症家族介護教室を開催します。

日 程：11月23日(祝)、30日
12月7日、14日、21日(すべて土曜日)

時 間：10:00~12:00

場 所：聖隷三方原病院 地域障がい者総合リハビリテーションセンター

申し込み：心理室 公認心理師 小桐友広(電話053-436-1251)

主 催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

備 考：やむを得ない事情を除き、原則として5回全ての参加をお願いします。



『分娩施設見学会』開催のお知らせ

出産する病棟や病室を見学してみませんか？

日 時：10月19日(土) 14:00~15:00

場 所：C2病棟・院内助産

内 容：陣痛室や分娩室、院内助産の見学

14:00までにC2病棟にお越しください。詳細はこちら↑
予約の必要はありません。



『お産の無料相談窓口』開設のお知らせ

毎月第3金曜日 13:30~16:00 1組30分

場 所：産科外来

内 容：妊娠反応陽性から受診までの流れや、
分娩施設を選ぶ際の相談

ご予約：病院代表電話(053-436-1251)に電 話してC2病棟へつなぐようお申し出
ください。詳細はこちら↑



あれ!?これって...
認知症？

認知症相談会

認知症の人には
どう接したらいいの？

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャル
ワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日 時：10月24日(木) 14:00~17:00

※事前予約制、30分程度/1件

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：医療相談室(よろず相談地域支援室内)

電 話：053-439-0006

受付時間：月~金 8:30~17:00

主 催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

がん相談支援センターからのお知らせ

がん患者さん等のための就労に関する相談会

静岡産業保健総合支援センターから派遣された両立支援促進員と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制 日 時：10月10日(木) 13:00～16:00

場 所：よろず相談地域支援室

対 象：患者さんご家族



おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

10月はがんのリハビリテーション（自助具の紹介）についてお話をします。

日 時：10月17日(木) 13:00～14:00

場 所：第4会議室

対 象：がん患者さんご家族

参加費：無料

最新情報はこちら↑



お問合せ：よろず相談地域支援室内

がん相談支援センター（電話：053-439-9047）

がん、肝炎、糖尿病等の疾病により 長期にわたる治療が必要な求職者の皆様へ ～ハローワーク浜松による就職支援のご案内～

患者さんの悩み・不安にハローワーク浜松の就職支援ナビゲーターがアドバイスします！

日 時：10月16日(水) 10:00～12:00

場 所：よろず相談地域支援室

お問合せ：医療相談室（電話：053-439-9046）

※事前予約可能です。医療相談室にてご予約ください。

栄養課通信 10月

～きのこ～

きのこは、秋に多く収穫される食材のひとつです。きのこには、ビタミンDやビタミンB群、食物繊維が多く含まれます。

特に秋冬は日照時間が短くなり、体内のビタミンDの生成が減少しやすいため、ビタミンDを積極的に摂取したい季節です。ビタミンDにはカルシウムの吸収を促進して骨を丈夫にする役割があり、カルシウムが多い食材と一緒に摂るのがおすすめです。

今回は、カルシウムを豊富に含むチンゲン菜を使った、きのこことチンゲン菜の煮浸しを紹介します。

簡単！旬のレシピ

おすすめメニュー

「きのここと チンゲン菜の煮浸し」

をご紹介します。

（栄養価1人当たり）

エネルギー	98 kcal
たんぱく質	6.3 g
脂質	3.8 g
食物繊維	4.0 g
食塩相当量	1.9 g

2人分

しめじ……1/2株(80g) ★水………200ml
えのき……1/2株(80g) ★醤油………大さじ1
チンゲン菜…1株(180g) ★みりん……大さじ1
油揚げ………1枚(20g) ★顆粒だし…小さじ1

作り方

- ① しめじ、えのきはほぐし、油揚げは1cm幅の短冊切りにする。
- ② チンゲン菜を食べやすい大きさに切る。
- ③ 鍋に★を入れ、沸騰させる。
- ④ しめじ、えのき、チンゲン菜、油揚げを入れ、3～4分煮る。
- ⑤ 盛り付けて完成。

◎温かくても、冷やしても美味しく食べられます。

栄養課 管理栄養士 平松 実夢

聖隷三方原病院

ベテルてんかんセンターを設立します

ベテルてんかんセンター
センター長 やまぞえ ともひろ 山添 知宏

てんかんのある方は、1000人に5~8人と言われており、稀な病気ではありません。その約半数は、第一に選択された抗てんかん薬で発作の再燃はなく経過します。しかし、約3割は抗てんかん薬を様々変更しても、発作の消失に至らない“難治性てんかん”の状態と推定されています。

当院では、脳卒中・脳腫瘍に伴う成人のてんかんから成人・小児の難治性てんかんを脳神経外科、もしくはてんかん・機能神経外科で診療を行い、小児のてんかんを小児科で診察しています。また、てんかんに伴う精神症状に対しては精神科で診察しています。

これらの診療科で連携をとって診療を行っていますが、2024年10月に当院にてんかんセンターを設立しました。てんかんセンター設立の目的は、当院複数診療科での連携をとった診療体制を継続し、近隣医療機関と、てんかん診療に対する連携を行い、社会福祉サービスに関するアドバイス等の提供体制を構築することを目的としています。

また、当院のてんかんセンター名称の頭文字に“ベテル”とつけました。ドイツにベテルてんかんセンターという病院があり、患者さんの障害に応じた医療サービスを提供し、QOLをより良く維持しようということとで有名であります。“ベテル”は“神の家”との意味合いもあり、てんかん患者さんにとって、“神の家”となれるようにとの目的も込めて命名しました。

てんかん患者さんへより良い医療の提供ができるようスタッフ一同、努めてまいります。よろしくようお願い申し上げます。



今月の部門紹介



やまぞえともひろ
山添 知宏

てんかん・機能神経外科では、“てんかん”の診断目的や“難治性てんかん”の評価目的に、入院検査である長時間ビデオ脳波検査を施行しています。また、難治性てんかんに対する手術療法（頭蓋内電極留置術、開頭てんかん焦点切除術、迷走神経刺激療法等）を行っています。特に、迷走神経刺激療法は国内有数の症例数となります。

新たな治療法も積極的に導入し、患者さんのより良いQOLが維持できるよう研鑽していきます。



にしむらかつひこ
西村 克彦

精神科では主にPNES（心因性非てんかん性発作）というてんかん様症状の治療を行います。心因とは学校や仕事・家庭の人間関係や考え方の癖など心に影響をする要因から症状が表れていることを表しています。てんかんと併発は稀ではなく、長時間ビデオ脳波モニタリングで鑑別診断がなされます。特別な治療法はないため精神科医師や心理師とともに、個別に時間をかけて環境調整や葛藤の整理を中心とした治療介入を行います。

ベテルてんかんセンター



よしむら あゆみ
吉村 歩

小児てんかんには、全身がガクガクする発作だけでなく、ぼーっとするだけの発作など、多彩な発作症状があります。

また予後も成長に伴い改善するものや、難治に経過するものなど様々で、治療法だけでなく、それぞれのてんかんへの不安や

思いも異なります。診察時のお子さんの状況だけでなく、詳しく発作の様子や発作によっておこる負担を共有し、検査結果と合わせてお子さんやご家族がてんかんと向き合えるよう診療しています。

看護外来のご案内

看護外来では、患者さんやご家族がその人らしい生活をスムーズに送れるよう、専門的な知識、技術を持った看護師が相談をお受けしています。

看護外来は予約制です。

- ・ ストーマ外来
- ・ がん看護外来
- ・ 皮膚・排泄ケア外来
- ・ 助産師外来
- ・ フットケア外来
- ・ 母乳外来



お問合せ先

よろず相談地域支援室（看護相談室）

TEL:053-436-1251（代）